



紋中たより

発行

紋別市立紋別中学校

令和7年5月30日

第2号

発行責任者 校長 佐藤 大

高校はどんな人が行かなければならぬか？

紋別中では、1・2年生は二者面談、3年生は、三者面談（先生・生徒・保護者）が行われました。3年生は、中学校卒業後の進路について話がされました。そこで今回は、私が中学校3年生の時の担任の先生だった今先生の進路指導のお話をします。今先生は、学校で1番怖い先生で有名でした。教科は保健体育。何かいたずらなど見つかった場合には大変でした。こっぴどく怒られた上に、愛のムチが飛んできました。3年生の新学期、クラス発表と、担任発表の時に、生徒玄関に担任「今」という名前を見たときには、絶望したのを覚えています。

さて、前置きが長くなりましたが、この今先生の進路指導のときの言葉がこの時期にいつも思い出します。

今先生の進路指導

「高校に行かなければいけない人は、①勉強が大好きな人、②中学校の勉強がしっかり身に付いていない人だ。」

「国は、小学校・中学校の9年間を義務教育としている。中学校のテストでいつも100点を取れるくらい勉強ができている人は、高校に行く必要はない。」

もちろん私は、②の勉強がしっかり身に付いていない人の部類に入っていました。クラスの中には①の勉強が好きな人が数人いましたが、ほとんどが②でした。クラス全体が高校に進学しなければという不思議な雰囲気になり、全員が高校に進学しました。今のように全員が高校に入ることができない時代でした。今先生の言葉の魔力か、誰一人高校を中退することなく卒業しました。クラスの友だちの中には、大学に進学し、一流企業に就職した人、学校の先生になった人（私）、家業の農家を継いだ人など様々でした。

今先生は、年賀状などで連絡を取っていましたが、3年前に亡くなってしまいました。先生の思いは、今も私の心に残っています。

運動会練習（グラウンドで）のひとコマ

「校長先生は、運動会の練習にも来るんですか？」と男の子から声をかけられました。「校長先生は、学校の中で仕事をしていて、練習に来るとは思っていなかった。」と追い打ちをかけて話してくれました。

ちょっと嬉しくなりました。行事、部活動の頑張っている姿は、いつも教室でみる子どもたちの姿とは違います。学校行事はもちろん、部活動の練習、大会に観に行っていると思います。会場で見つけたら「校長先生！」と声をかけてください。

本校では、様々な情報・連絡をホームページやテトルを活用して発信しています。毎週の時間割や学校ブログ、事務連絡、PTAブログ等を掲載していますので、ぜひご覧ください。

■本校ホームページ(edumap.jp)<https://mombetsu-j-mombetsu.edumap.jp/>



●本校は今年度から「学校力向上に関する総合実践事業」の指定校です

紋別中学校では、今年度から次年度にかけて2年間、北海道の「学校力向上に関する総合実践事業」の指定校になりました。この事業を通して、紋別中学校では主に4つのことについて取り組んでいきます

①新しいかたちでの授業を進めます。また家庭学習が充実するための取組を行います。

②紋中校区の小学校とのさまざまな連携を深めていきます。

③特に、生徒が「数学」の授業で見通しを持って学べるようにします。

④地域に根差した学校づくりを目指し、家庭や地域と共に学校活動を進めていきます。

★それぞれ、どのようなことを進めているか、学校だよりを通じて次号からお知らせしていきます★



令和7年度 紋別市立紋別中学校
学校経営グランドデザイン

保護者・地域の願い：
世界で活躍する人材を輩出する学校
子どもの居場所となる学校
他校種とつながる学校
保護者・地域住民が来やすい学校

生徒の想い(生徒会スローガン)：
「トバーズ」～自主性、メリハリ、気遣い

・教育目標：学びを未来につなぐ

目指す生徒像：志を持ち努力する生徒 和を大切にし行動する生徒 心を拓き成長する生徒

R7重点テーマ：本気で学ぶ(ガチベン)

重点目標：①安心できる人間関係、ウェルビーイングな学級・学校づくり

②基礎学力の定着から活用へ

③保護者、地域、関係機関との連携強化

北海道教育委員会指定事業「学校力向上に関する総合実践事業」(令和7年度～8年度)

～令和の日本型学校教育の構築～

■具現化のための取組
①「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現させる授業
・生徒の活動時間の保障による生徒が主語となる授業の実現 (生徒×教師)
②生徒が自律的に学ぶための指導・支援
・家庭学習と授業の往還 (タメベン、家庭学習の手引、CBS)
・校内研修の充実による教師の指導力向上

■具体的評価指標 (R7)
①授業がよくわかる ...80% 学調
②学校に来るのが楽しい ...3.0 生ア
③家庭学習を1時間以上 ...85% 学調
④全国学調、CRTの平均得点率
...全道平均以上

■具現化のための取組
①生徒一人一人を大切にした教育活動
・積算・受容・共感に基づく生徒理解、QU
・いじめの横暴の認知、発達支持的生徒指導
・特別支援教育、通級指導の充実
②不登校生徒への対応
・不登校生徒への学びの場の設営
・生徒に寄り添った支援と保護者との連携
・SC、SSW、教育支援センター等関係機関との連携

■具体的評価指標 (R7)
①自分には良いところがある ...85% 学調
②先生が自分の良いところを認めてくれる ...90% 学調
③いじめは絶対に許されない ...85% 生ア
④Q-Uで学級満足群の生徒の割合...55% QU

■具現化のための取組
①生徒の多様な体験を定し、社会につながる指導
・体育授業の工夫 (運動量の確保)
・ふるさと教育、キャリア教育、主権者教育
・部活動 (拠点校方式、地域移行)
②「自分」「相手」「命」を大切にする指導
・交通安全、非行防止、自殺予防教育
・性の多様性 (LGBTQ+) 等関係機関との連携した授業
・SNS、メディア等の情報モラル教育

■具体的評価指標 (R7)
①地域や社会のために目かしてみたい...75% 学調
②学校は、保護者・地域へ情報を分かりやすく発信できている ...3.0 保ア

教育基本法 学習指導要領 他 関係法規、通知等

北海道教育の基本理念：「自立」「共生」
R7オホーツク管内教育推進の重点：
「オホーツクの子どもたち、教職員
のWell-beingの実現」

紋別市の教育目標：「生きがいと夢を拓ぐ教育」
つむぐ かがわる はぐくむ いきる
目指す子ども像：
「自立し、社会を生き抜く子ども」
目指す教職員像：
「地域に根ざして子どもたち一人一人を大切
にし、常に学び続けることができる教職員」

目指す教師像(キーワード)：
人間性…生徒第一主義 専門性…「教えるプロ」
同僚性…誇れる学校

働き方改革の取組

「校務DX化」「組織対応」「校務の分配」

他校種との連携

CBS(超勉強時間(習慣)) 体験授業 授業参観 研修
キャリア教育 不登校対策 学力向上 特別支援・通級 等

PTA・CS・地域との連携

情報発信 オープンスクール 学校運営協議会 PTA活動
教育パンク キャリア教育 部活動の地域移行(展開) 等

目指す学校像：

生徒にとって わかる喜びとできる楽しさを実感できる学校
保護者・地域にとって 信頼関係で結ばれている学校
教職員にとって 地域とともに歩み 地域が誇れる学校

グランドデザインとは？

これから、学校が目指していく姿の全体を示したもので
す。紋別中学校での全教育活動の方針になっているもの
です。

新しい紋別中学校教職員のご紹介

●西村 真未(にしむら まみ)先生

【担当教科】英語

※主に特別支援学級の英語の授業と、全学年英語の授業
のサポートに入っていただきます。



どうぞ、よろしくお願ひいたします。

6月の主な行事予定

3日 壮行会(短縮日課)

4日 分掌会議

5日 PTA合同委員会

8日 CBS週間(11日まで)

12日 前期中間テスト(部活動なし)

17日 内科健診(男子)

18日 オープンスクール(2時間目～放課後)

19日 専門委員会④

23日 分掌会議

24日 内科健診(女子)

